

■MBCテレビ「市民のひろば」

(毎週日曜日午前8時から  
再放送 毎週火曜日午後4時45分から)

11月4日 いしき園 11月18日 秋の火災予防  
11月11日 ごみ処理 11月25日 11月の市政

**KTS テレビ「市政の窓」** (毎月最終土曜日  
午前11時30分から)  
11月24日 家庭の跡地

11月24日 家庭の防災  
黒204,284人 女229,405人) 139,398世帯 (48,10,1現)



# 交通事故など

## 昼夜活動の救急指令センター

救急車の出動は一日平均十三回、交通事故といわれるようないまや大きな社会問題です。また、都市化現象が進むにつれ、その他の災害発生も多くなる一方です。このような情勢の中で、不幸にして事故にあった市民をいち早く救助し、救急病院へ運ぶ消防局の救急業務は、昼夜を問わず一分のゆだんも許されません。

市内全域からの通報を受け、救急指令センターから指令が発せられ、救急車の出動

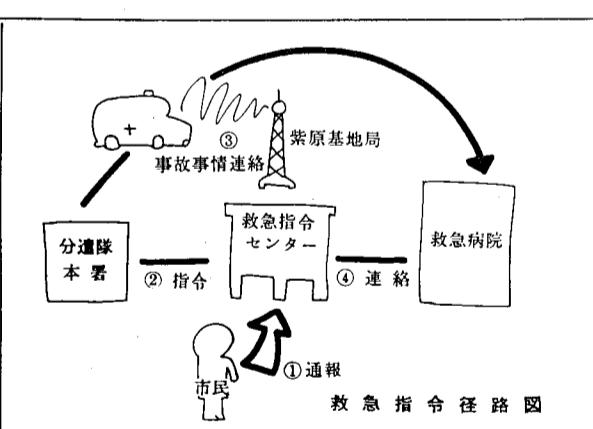
この分でいきますと、昭和四十七年中の出動回数四千三百六十三件を上まわるのではないかという予想がたてられております。

鹿児島市消防局が救急業務を開始したのは昭和三十五年十二月で、当時救急車一台と、上半期に二千三百八十二件を数え、一日平均約十三回もの出動になります。このうち交通事故関係が六百三十九件、急病人が九百三十五件などです。

の電話を受けています。受信台の前面には、救急病院ごとに、その時の男女別の空きベッド数が電光掲示板によつて示されています。

事故場所を受信した救急指令センターは、出動区分によつて署または分遣隊になります。

そこから救急車



ピーポー、ピーポーというサイレンを鳴らしながら今日も市内を走る救急車——またどこかで事故が起つたのかと他人事のように思ひがちですが、事故はいつ何時自分の身におそつてくるかわかりません。特に最近は車の激増で事故件数はうなぎのぼりです。そこで今回はこのような事故に日夜対処している市消防局の救急処理体制についてご紹介し、皆さんのご協力を願いしたいと思います。

次に市民の皆さんからの通報、救急車の出動、病院までの患者輸送がどのような経路で進むかをご説明します。市民の皆さんからの一一九番での通報は、消防局に設置されている救急指令センターで受信します。

この救急指令センターには当務職員六人が配置され、二十三本の電話回線で一一九番

(三)できるだけ事故発生現場へ誘導する案内人を置くこと、住宅密集地など道順のわからぬところでは大切にすることです。

とくに夜間の場合には懷中電灯などで所在をはつきりさせると救急車の到着がそれだけ早くなります。

四 救急車をタクシーのかわりに使わないように。

軽い病気などあまり緊急を要しない場合、タクシーが

(4)車を運転している時や横断歩道を渡っている最中に、ピートーのサイレンが聞こいたら、必ず救急車が支障なく走れるような状態をとてください。

一一九番へのいたずら通報や問い合わせは絶対にしないでください。

これは言うまでもなく、救急指令センターの業務をそれだけ妨害する結果になるからです。

そして三十八年に、消防法の中では、消防本来の業務にさらに救急業務が義務づけられました。それに伴つて救急業務体制は強化されました。

できるだけ早く、そして安  
全に救助しなければならない  
救急体制のなかで、市民の皆  
さん方のご協力と、ぜひ守っ  
ていただきたい事項は次のと  
おりです。

(一) 一一九番へ連絡する場合、  
まず町名と事故のおこった  
場所を明確に伝えること。  
(二) 次に事故の内容を簡単に伝  
えること。(例えば交通事故  
など)

(五) 赤電話から一一九番へかけ  
る際は所有者に連絡してく  
らかけてください。かぎりで  
借りてかけないと全然救急  
指令センターには伝わりき  
ません。

事故の際は場所等をはつきりと

指令センターでは、  
救急指令センターと無線で連絡し、  
該当する本  
方遣隊にすぐ連絡し、  
救急車を出動させ  
ます。

市長隨想(66)

と一見なんでもないようですが、み  
ているうちに出演者の中に自分が没入  
していることに気付いたのです。

「時代が変わつても人間はたいして  
進歩していない」といった人があるそ  
うですが、そうかもしれないと思うの  
です。今後毎年この市民芸能祭が開か  
れることになるでしょうが、進歩がな  
くとも参加してもらつた市民の方々の  
喜びが再現されればそれでよいのでは  
ないかと思うのです。

そして、その同じうたや踊りが今の時代において再現されてもなお、その感動を与える力をもつているということは、すばらしいことだと思うのです。

芸術とか、文化とかに対する批判や、評論は私には出来ないのですが、長い間その土地に絶えることなく伝わってきたということは、その時代においての人間の生活に潤いとなり、慰みとなり、また喜びでもあつたろうと思われるのです。

何んでも伝統といわれるものは、目には見えないが秘められた力をもって、現実に生きている私共に対し何かを訴え、何かを感じさせる力をもつてゐるようですね。郷土芸能といわれるうたや踊りについてもそのことが言えるのではないかと思ひます。

成功であったとの評価をいただいたのです。  
あれから一年が経過して、今年第二回目を行うこと  
になつたのです。今年は果してどうだらうかと不安も  
ないではなかつたのですが結果は昨年に劣らぬ成功で  
あつたのでよな、かと思うのです。

れました。昨年中央公民館の改装がなり、その竣工を祝つて第一回が行われたのですが、芸能祭を行うことが発表されると、市内の芸能関係のグループの方々をはじめ、一般市民の方々からも強い関心が寄せられ、この方々の協力によつて、はじめての試みとしては大





## 日曜祝日当番医さん

(診療時間午前8時から午後8時まで)

11月11日(日)
内科(小児科)
吉村病院(大竜町) 2054
弓山病院(山之口町) 22 0888
弓家診療所(中央町) 22 1539
福島内科病院(甲突町) 22 7719
いき医院(紫原5丁目) 22 0441
岩下井医医院(原良町) 22 3987
岩井医医院(三和町) 22 2450
三宅病院(上福元町) 22 3512
外外科(整形・皮・泌を含む)
辻外病院(下竜尾町) 22 1956
尾胃病院(西田町) 22 3780
野原田病院(皮膚科)(真砂町) 22 2028
産婦人科
池田医院(荒田2丁目) 22 1481
眼科
平塚眼科(篠原町) 22 3567
耳鼻科
徳田医院(上伊敷町) 22 5845

11月18日(日)
内科(小児科)
鈴木内科(稲荷町) 22 1891
木松内科(東千石町) 22 2821
大池内科(上荒田町) 22 1387
成中林外科(下荒田町) 22 2897
産婦人科
末永産婦人科(上之園町) 22 6267
眼科
大山眼科(宇宿1丁目) 22 6493
耳鼻科
耳鼻咽喉科(平之町) 22 1886

11月23日(勤労感謝の日)
内科(小児科)
橋浜田小兒科(西千石町) 22 4553
馬場内科(田上町) 22 8703
内西大水市外科(荒田丁目) 22 3688
内西大水市外科(船津町) 22 5635
内西大水市外科(伊敷町) 22 8753
内西大水市外科(宇宿3丁目) 22 0967
内西大水市外科(上福元町) 22 2155
内西大水市外科(整形・皮・泌を含む)
中村昭典外科(上之園町) 22 5639
木下病院(西田町) 22 1720
児玉国秀整形外科(下荒田町) 22 2720
相良外科(上福元町) 22 2281
産婦人科
三島産婦人科(武町) 22 2747
眼科
高野医院(長田町) 22 4692
耳鼻科
木田医院(大竜町) 22 6886

11月25日(日)
内科(小児科)
米倉内科(川上町緑ヶ丘団地) 22 0095
有坂内科(西千石町) 22 0100
ノ林茂口保医(西千石町) 22 8263
山松橋外科(中央町) 22 0077
寺脇医(江町) 22 8337
小田原病院(山之口町) 22 1541
野元医院(皮膚科)(上竜尾町) 22 6005
平山外科胃腸科(上福元町) 22 6121
産婦人科
中眼元眼科(山之口町) 22 2768
耳鼻科
吉満耳鼻咽喉科(小川町) 22 3387

## 募 集

## 市営施設見学

◆実施日 11月16日(金)

◆人員 70人 ◆資格 市内に住んでいる満20歳以上の方

◆見学コース 河頭浄水場、いしき園、食肉センター、工芸研究所など

◆申込日 11月14日

(水) 午前8時30分から午後5時まで(定員になり次第しめります)

◆申込方法 かなづ電話で申込みください(一回3人以内)

◆申込先、市広報課(内線211、269、393)料金はひとり100円です。

◆申込期間 11月10日~12月28日

◆申込方法 ◆申込先、市社会教育課

◆申込期間 11月10日~12月28日

## 観光客船バイカル号が入港

国際観光保養都市を目指す鹿児島に今年になって外国の観光船がつぎつぎと入港しています

が、11月10日朝9時谷山港にソ連の観光客船バイカル号(五千トン)300人が入港します。市民みんなで暖かく迎えましょう。

◆会合せ 市観光課(内線404)

◆会合せ 福岡市の電話局番号が



## 今に生きる持明さま

観光客が多い西郷銅像の裏にひっそりと今もなお、女の心の美しさをまつた石像があり、300年の昔から花が咲いています。この石像の方は、がそなえるのかいつも花が咲いていません。この石像は、持明院様という島津家の正室で美人ではあります。持明院様は、とても心のやさしい夫人であったといふことが、あります。当時の人が、女性はこの夫人のように、と、石像を作りました。ややもすると心のさみがちな現代に、人の心をまつり美しく化粧をしてまつたものです。

ややもすると心のさみがちな現代に、人の心をまつり美しく化粧をしてまつたものです。

## クリスマスカードと年賀ハガキを発売

◆職種 一般事務(初級職) 水質(初級職) 機械(初級職)

◆職種 農業(上級職) 保母 ※一般事務・水質は来春卒業見込み者を対象とします。 ◆申込受付 11月7日(水)から14日(水)まで ◆試験日会場 11月18日(日)玉龍高等学校

◆会合せ 市役所総務局行政人事課(内線211-111)

◆会合せ 市消防吏員の募集

◆会合せ 11月30日(金)まで ◆試験日会場 12月9日(日)

◆会合せ 市消防会館 ◆会合せ先 市消防局総務課(内線5460)

◆会合せ 申込受付 11月30日(金)まで ◆会合せ先 市観光協会(市役所新館四階の観光課内線25805)西駅前観光案内所(内線25000)

◆会合せ 駅前観光案内所(内線22250)

◆会合せ 市観光協会(市役所新館四階の観光課内線25805)西駅前観光案内所(内線25000)

◆会合せ 市観光協会(市役所新館四階の観光課内線25805)西駅前観光案内所(内線25000)